



「第23回 民間技術交流会」の聴講者募集

－ コロナ対策として、オンライン交流会を開催 －

1. 概要
中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所では、民間事業者等により開発された有用な技術を管内の港湾・海岸整備において積極的に活用していくため、その技術を港湾整備関係者にプレゼンテーションをしていただく場として「民間技術交流会」を開催しております。
第23回交流会は前回に引き続き、新型コロナウイルス対策としてオンラインセミナー形式で開催します。本交流会はCPDS認定学習講習会であり、開催にあたり建設関係に従事されている方の聴講を広く募集します。
2. 日時
令和3年2月18日(木) 13時30分～16時30分
3. 開催方法
オンラインセミナー(WEB開催)
4. 発表技術
①WIT 地盤改良管理システム 2020【若築建設株式会社】
②消波工3次元モデリングシステム【株式会社不動テトラ】
③真空井戸を用いた真空圧密工法「BOLVAC工法」【株式会社大林組】
④地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」【徳倉建設株式会社】
※各発表技術の概要は別紙参照
5. 募集要項
募集対象 : 建設関係者
募集人数 : 50名程度
応募方法 : 下記に示す①～⑥の事項を記載したメールを申込先まで送信して下さい(メール表題に「第23回交流会」と記載願います)
①お名前・ご所属・役職・所属先住所
②連絡先(Mail、Tel、Fax)
③オンライン中の連絡先(携帯番号など)
※トラブル対応のため、必ず本人と連絡が取れる番号を記載願います
④接続テスト参加希望日時
※詳細は「6. 注意事項」参照
⑤CPDS 会員番号
※CPDSを希望しない場合は省略可



⑥CPDS 技術者証のカラーコピーの添付

※CPDS を希望しない場合は添付不要

※学習履歴の代行申請および受講中のモニターによる
本人確認のために必要となります

申 込 先 : (事務局)特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム

E-mail : contact@isewanforum.org

申込人数 : メール1通につき応募者1名とします

(応募者が複数である場合は非選定とします)

参加費用 : 無料

応募締切 : 令和3年2月4日(木) 17時

選定方法 : 応募数が募集人員を上回る場合は、応募締切後、抽選のうえ
決定します

当選通知 : 令和3年2月5日(金)に、当選者のみメールで返信します

6. 注意事項

◆本交流会は web 会議アプリケーションによるオンラインセミナーです。

◆参加にあたり、PC(1人1台、10インチ以上のタブレットも可)、マイク・スピーカー・WEBカメラ(PCに付属していない場合)、ネットワークを用意していただく必要があります。

◆web 会議アプリケーションおよび利用環境は以下のとおりです。

種別	製品名
OS	Windows10
ブラウザ	Microsoft Edge、Chrome
アプリケーション	Microsoft Teams

※2020年11月30日に、TeamsにおけるInternet Explorerのサポートが終了しましたので、Internet Explorerでは会議URLへアクセスしても動作しない旨のメッセージが表示されます

◆交流会前に開催される接続テストに必ず1回以上ご参加下さい。

【接続テスト予定日時】 ※1回20~30分程度

・2月 8日(月) AMまたはPM

・2月10日(水) AMまたはPM

・2月16日(火) AMまたはPM

※上記から参加希望日時を選択して応募メールの④に記載して下さい。

※上記予定日時での参加が困難な方は、応募メールの④にご都合の良い日時を記載してください。できる限り複数記載願います。

※AMは9:30~12:00、PMは13:00~17:00を想定しており、参加者の希望日時を集計した上で、詳細な日時を調整させていただきます。

◆web 会議への参加方法は、名古屋港湾空港技術調査事務所ホームページに掲載しております。

URL : <http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>



7. その他
- ◆本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(3ユニット付与)
 - ◆本交流会の学習履歴申請は、主催者が代行します。
 - ◆受講のエビデンスは、専属の管理者が受講者のモニター管理を行います。
また、受講中に4回、受講者全員分のスクリーンショットを行い、(一社)全国土木施工管理技士会連合会に提出します。
 - ◆CPDSを希望される方は、交流会中はCPDS技術者証をお手元にご用意願います。主催者より確認させて頂く場合がございます。
8. 配布先
- 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
9. 問合せ先
- 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課 村上(むらかみ)、六ツ名(むつな)
連絡先 : TEL 052-612-9984 FAX 052-612-9477



(別紙) 第 23 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

	発表技術	発表者	技術の概要
1	WIT 地盤改良管理システム 2020	若築建設 株式会社	<p>地盤改良工事における品質・出来形管理ツールとして、WIT(Wakachiku Intelligence Technology) 地盤改良管理システムを2016年に導入しました。本システムは、地盤改良工事における品質・出来形情報を3次元 CIM モデルの属性データとして一元管理するとともに、動態観測結果や地盤調査結果などの工事関連資料を同 CIM モデルに関連付け、関係者間の情報共有ツールとして多くの現場において運用してきました。</p> <p>港湾、海岸、空港等の実現場において本システムを適用した事例紹介と、昨今のシステムの運用を通じて拡充してきた機能とその効果について報告します。</p>
2	消波工3次元モデリング システム	株式会社 不動テトラ	<p>本技術は、消波工において測量点群データから消波ブロックの3次元モデル作成と据付シミュレーションを可能とするシステムです。従来、消波工の据付検討(施工計画立案)は、一定の縮尺で再現した現状地盤模型に消波ブロック模型を配置して行っているため、ICT施工への展開が容易ではありませんでしたが、これをシミュレーションにてモデリングし、三次元データで管理することを可能としたシステムです。</p>
3	真空井戸を用いた真空圧密 工法「BOLVAC 工法」	株式会社 大林組	<p>浚渫土砂等の軟弱粘性土を用いた埋め立て工事では、圧密促進、地盤強度確保のための地盤改良が不可欠です。本工法は、真空井戸、底面透水層、バーチカルドレーンを用いた圧密促進工法です。</p> <p>従来の上面から載荷する圧密促進工法に比べて、大きな載荷荷重を効率よく載荷することが可能です。あわせて埋立途中段階からの地盤改良が可能のため、軟弱粘性土を埋立しながらの減容化が可能です。</p>
4	地下空洞、空間の充填技術 「ジュウテンバッグ工法」	徳倉建設 株式会社	<p>本技術は、護岸・岸壁や道路等に発生した地下空洞を、袋体(ジュウテンバッグ)とLSS流動化処理土で補強する技術です。従来はLSS等充填材をそのまま空洞へ充填していましたが、袋体(ジュウテンバッグ)を活用することで、周辺に流出することがないため、空洞化の原因を補修しなくても空洞を補修することができます。改変面積が少なく済むことから、施工が容易であり、短い工程で安全に施工ができます。本技術の活用により、品質、安全性、施工性、環境への向上が図れます。</p>